

平成26年度の取り組み及びその予算について

<高知県新エネルギービジョンの推進によって実現を目指す本県の姿>

取り組みのポイント	これまでの取り組み状況	平成26年度の取り組みの方向性	当初予算額(案)
太陽光 (1)大規模太陽光発電(メガソーラー)の整備 (2)中小規模太陽光発電設備の初期費用の負担軽減	〇こうち型地域還流再生エネ事業の立上げ ・官民共同出資による発電事業会社の設立準備 ・県内各地域の適地において地域還流再生エネ事業を展開 〇こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討 ・メガソーラー事業スキームの構築 ・公共施設の屋根貸し方式等による導入の検討	〇こうち型地域還流再生エネ事業の取り組み → 安芸市含む6箇所での発電開始に向け、着実に実行 → 県内各地域への展開に向けた、新たな候補地の開拓 〇公共施設の屋根貸しの具体化への取り組み	再生エネ事業出資金 31,000千円 会議費等(共通) 1,846千円 再生エネ活用補助金 20,000千円
小水力 〇小水力発電導入に向けた検討 〇県内市町村等に対する小水力発電導入に向けた技術的支援	〇地蔵寺川発電所(仮称)建設計画 ・基本設計業務の完了。実施設計業務に着手。 〇こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討 ・事業化適地の絞り込みや導入市町村支援	〇地蔵寺川発電所(仮称)の建設に向けた取り組み 〇市町村等による導入促進 → 市町村や土地改良区等を対象とした情報交換会や勉強会を開催	地蔵寺川発電所実施設計委託費 47,105千円 再生エネ活用補助金 20,000千円
風力 〇地元のメリット創出に向けた支援	〇こうち再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討 ・梶原町四国カルストにおける風力発電事業化計画支援 ・事業の実現に向けた基本協定締結	〇市町村への助言や支援、ノウハウ蓄積 → 梶原町四国カルストにおける風力発電事業化の取り組み(こうち型スキームによる事業展開の可能性の検討) 〇洋上風力発電の可能性の検討へのチャレンジ → 漁協、自治体、事業者等を対象とした勉強会の開催 〇民間企業等による導入促進	会議費等(共通) 1,846千円 再生エネ活用補助金 20,000千円
木質バイオマス (1)木質バイオマス燃料供給体制の強化 (2)燃焼灰の処理手法周知 (3)効率的な施設整備やボイラー導入 (4)需要側を中心とした集団化による効率的な事業展開 (5)木質バイオマス発電の推進	〇燃料供給拠点から利用機器までの集団化 ・地域循環システムの仕組みの検証、普及 ・木質ペレット生産施設の改善等 〇民間企業の発電事業の推進 ・施設整備の推進、原木の安定供給に向けた調整	〇木質バイオマス利用機器の普及促進 → 木質バイオマスボイラーの導入などに支援 〇燃焼灰処理・再生利用の促進 〇木質バイオマス発電事業に必要な施設整備 → 県内2箇所において木質バイオマス発電事業に必要な施設整備を支援	ボイラー等導入補助金 361,085千円 焼却灰処理等補助金 2,761千円 発電施設整備補助金 3,480,309千円 再生エネ活用補助金 20,000千円
防災拠点等の導入促進 〇防災拠点等に対する導入の支援	〇国の交付金を活用した基金の造成 ・グリーンニューデール基金:18億円 ・市町村等の事業要望書の取りまとめ	〇グリーンニューデール基金を活用した公共施設など防災拠点施設等への導入支援 → 市町村や民間企業の取り組み支援	再生エネ導入推進補助金 市町村等:1,343,705千円 再生エネ導入事業費 県有施設:358,549千円
農業分野での新エネルギーの有効活用 (1)重油代替暖房機の普及促進(木質バイオマスボイラー、ヒートポンプ等) (2)こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発(ヒートポンプ利用技術と機能強化に関する研究)	〇こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発 → 農業試験研究費:36,035千円	〇こうち新施設園芸システムの確立に向けた研究開発 → 化石エネルギーの使用量削減とそれに代わるエネルギーの利用方法や施設内環境制御など、高収益に繋がる新園芸システムに関する研究を実施 〇次世代施設園芸団地の整備 → 木質バイオマスの利用により、化石燃料の使用料を65%、燃料コストを40%削減	先進的技術を導入した「こうち新施設園芸システム」開発事業費 44,116千円 次世代施設園芸団地の基盤整備 665,485千円 (債務負担行為1,003,263千円)
普及啓発 新エネルギー関連産業育成 〇新エネルギー関連産業育成体制の構築	〇新エネルギー産業交流会の実施 ・県内事業所アンケートの実施 ・新エネルギー産業交流会の実施 〇普及啓発活動の実施 ・新エネルギー導入促進協議会による講演開催	〇新エネルギー関連市場・技術動向等の企業向け情報提供 〇新エネルギー関連製品の開発の可能性の検討	会議費等 3,725千円

10年後のめざす姿

関連産業の振興・活性化、メリットを最大限地域へ還流、災害に強い地域づくり、エネルギー自給率の向上、地球温暖化対策への貢献等)

新エネルギーの導入促進